

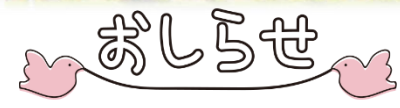


言葉を大切に作る心、豊かな言葉の力を育むために 国語専科 大畑伸也

2012年に本屋大賞を受賞した三浦しをんさんの「舟を編む」という小説をご存知でしょうか。その後、映画化やテレビドラマ化もされましたので、小説を読まれるとともに、そちらをご覧になった方も多いのではないのでしょうか。この物語は、何年もの歳月をかけて辞書編集という地道で緻密な作業に情熱を注ぐ人々の姿を描いた作品です。そして、作品の題「舟を編む」は、辞書を言葉の海を渡る「舟」、その辞書を作る編集者の営みを「舟を編む」と比喩表現したものだそうです。作中に登場する出版社「玄武書房」辞書編集部のメンバーとその仲間が作る新しい中型辞書の名前「大渡海^{だいつかい}」にもその意味が込められています。辞書編集者たちの姿は、私たちに言葉の重み、奥深さ、言葉を大切に作る尊さを教えてくれます。

現代は、SNS やチャットアプリなどにより言葉が瞬時に飛び交う時代です。しかし、その一方で、言葉の意味や重みが軽視され、誤解やすれ違いが生まれやすくなっていることも事実です。学校における子どもたちの姿においても、言葉足らずによるトラブルが散見されます。だからこそ、子どもたちに、言葉を大切にし、言葉を通じて的確で豊かなコミュニケーションをとる力を育むことが今まで以上に重要になってきていると言えます。

言葉は、単なる情報伝達手段ではなく、心に浮かんだ思いや考えを相手に届けることにより、人と人をつなぎ、思考を深め、感情を共有するためのものです。また、言葉は、時に人を傷つけ、時に人を救います。子どもたちには、そうした言葉に関心を持ち、「言葉のもつ力」、「言葉にする責任」を理解することにより、言葉の意味を考え、相手の思いを的確に受け止めるとともに、言葉を適切に選択し、丁寧に使うことができる力を身につけさせたいと思います。わたしたち大人が、日々の会話の中で言葉の受け止め方や選び方、伝え方に気を配るといった言葉を大切に作る手本を示すことで、(続く) ♪



★運動会の参観ありがとうございました。

子ども達の演技や応援を頑張る姿に、たくさんの参観、たくさんの応援、声援、拍手をありがとうございました。そして、テント等の後片付けなど、最後までご協力ありがとうございました。

★4年生人権教室出前授業 11月18日(火)

4年生教室において、13:55～14:35 に小郡市人権擁護委員の方達による人権教室を実施します。参観は自由です。関心をおもちの方のご参加をお待ちしています。

★秋の全校遠足 11月7日(金)

学校から発行の「秋の遠足のお知らせとお願い」の文書や、各学級通信をよく見られて、準備をよろしくお願いします。

★芸術鑑賞会 11月21日(金)

先日、文書でお知らせしました「オペラ座の怪人」の鑑賞会をキャナルシティ博多で実施します。アンケートのご協力ありがとうございました。

★11月から冬服

11月1日(土)からは全員が冬服となります。
冬服を正しく着用して登校できるよう、お家でも確認をよろしくお願いします。

11月		行事予定	12月		行事予定
1	土		1	月	委員会活動
2	日	本校入学試験	2	火	
3	月	文化の日	3	水	
4	火	赤い羽根募金運動	4	木	
5	水		5	金	JR九州出前授業1・2年
6	木		6	土	本校合格者説明会
7	金	全校遠足	7	日	
8	土	休日	8	月	個人懇談(～12日)
9	日		9	火	お弁当の日
10	月	委員会活動、個人懇談6年	10	水	
11	火		11	木	
12	水		12	金	東京証券取引所出前授業5年▼
13	木		13	土	本校年中向け入試体験会
14	金	▼	14	日	
15	土	クラブ活動	15	月	
16	日		16	火	
17	月		17	水	
18	火	人権教室4年	18	木	
19	水		19	金	
20	木		20	土	クラブ活動
21	金	芸術鑑賞会	21	日	
22	土		22	月	
23	日	勤労感謝の日	23	火	大掃除
24	月	振替休日	24	水	全校朝会
25	火		25	木	冬休み
26	水		26	金	
27	木		27	土	
28	金		28	日	
29	土		29	月	
30	日		30	火	
-	-	-	31	水	▼

♪(続き) 子どもたちは自然とその価値を理解していくでしょう。また、辞書を引く習慣や読書を通して、一つ一つの言葉の意味や使い方を正確かつ深く知ること大切です。「なぜ、この言葉を使うのか」「どんな場面で使うのか」といった言葉にこだわり、思考することにより、子どもたちは、伝えることの難しさ、面白さを実感し、より深く、豊かなコミュニケーションを図ることができるようになっていきます。

言葉は、子どもの心を支え、未来を切り拓く大切な道具です。国語科の指導においても、子どもたちが言葉の世界を広げ、深め、言葉を通した互いの思いや考えの理解、共感的な受容、適切な双方向の表現により、よりよく問題解決したり、つながりや関係を深めたりできる豊かな言葉の使い手に育っていくよう尽力してまいります。ご家庭においても、お子様と「言葉」について語り合う時間を設けていただけると幸いです。

